

## 2015 HAND TO HAND KARMA PROJECT

皆様へのお礼と活動報告

2015/09/23

2015年9月6日から9月19日まで、ネパール、オコルドゥンガ郡ファプレ村と隣のドルカルカ村へ皆さんからお預かりした募金を届けに行ってきました。総額130万9937円を被害状況にあわせて73軒の村人とファプレ村へ寄付させていただきました。

村人達は、日本の方々も震災や洪水で大変な中、温かいご支援をいただいたと本当に感謝しています。私のプロジェクトに賛同してくださり支援してくださった皆様に心より感謝を申し上げます。

今回は和歌山県本宮町より合気道の仲間のお二人がボランティアで参加してくださいました。

村の90%が半壊、全壊しているため、大きくひびが入りいつ倒壊するかわからないような家がほとんどでした。皆、空地に簡易な小屋をつくり過ごしています。食糧はほとんどの家が一年分を備蓄しており、倒壊しそうな家から食糧をとりだして使っています。余分にはありませんが足りていました。

地震の当初1週間ほどは皆、何が何だかわからないという状況でショックで茫然としていたようです。でも皆、悲観していても何もはじまらないと思い、村人で協力して片付けをしたり、簡易な小屋をつくったり。皆で集まって食事をしたり、と励まし合って生活をしています。

今回私は、村人の芯の強さ、自然の中で生活をしている人々の精神力の強さ、明るさを改めて感じました。日本からきてくれたお二人は私の村を訪れ、村人の心の温かさ強さに感動して涙してくださいました。また、ぜひ訪れたいとおっしゃってくださいました。

皆さんからの募金は、村長である私の父、ナワン シェルパを通して、ファプレ村の52軒。向かいの村で家屋が全壊し被害がひどい、ドルカルカ村の21軒にもぜひ支援してほしいと村長からの要望で、支援金を渡しました。

村長の父より日本の皆様へ。

遠く離れた日本の皆様 海を越え、温かいご支援心より感謝しています。

地震で被害をうけた村人たちは皆さんのご支援により大いに励まされています。

村人を代表してお礼申し上げます。必ず復興いたします。ファプレ村へぜひお越しください。

ご支援本当にありがとうございました。

私は今後 10 年間はこの復興のために活動をしていきたいと思っています。  
今回の支援は家を作るための一部にあてられますが、元どおりの生活に戻るにはまだまだ支援は必要と  
されていると感じました。  
また引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

産業のないネパールの復興には観光が一番だと考えています。また復興ツアーも企画しますので  
ぜひご参加ください。カトマンズには私が驚くほどの観光客がきており、タメル市街はヨーロッパ  
アメリカ、韓国からの観光客で埋め尽くされていました。思ったより街は機能していました。  
しかし村の方は支援が必要です。

またみなさんにいろいろな情報をお伝えしたいと思っています。  
今回はたくさんの方々にご協力いただきました。  
皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました！！

カルマ ギャルゼン シェルパ より

ファブレ村標高 2700m、村人とカルマ、佐々木さん、廣瀬さん、村長と記念撮影





村人へ支援金を渡している所。



上はファプレ村の様子、左は簡易な小屋で生活している様子。右は倒壊しそうな家。壊すにも壊せず、修理もできず。



左は被害をうけた世界遺産のボーダナート。チベット仏教寺院。シェルパ族の日常の祈りの場。修復作業が続いています。